

催吐リスク DTX

乳 PER840→420+HER8→6+DOC75/d1/c21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液			点滴 時間 (分)	投与日(day)
			mg				
デキサメタゾン	注射	16.5	mg	生食	100 mL	30	1
パージェタ		840	mg/bo	生食	250 mL	60	1
トラスツズマブ		8	mg/kg	生食	250 mL	90	1
ドセタキセル		75	mg/m2	5%糖液	250 mL	60	1
					mL		
					mL		

## 内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 day2,3,4  
(浮腫予防)

## 投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$ )

転移性または局所進行 HER2 陽性乳がん。HER2 陽性は IHC3+または FISH 法陽性

## &lt;除外基準&gt;

- ・中枢神経転移
- ・原則的に原著では 1st line に限定しているが、保険上は HER2 陽性乳がんにおいては使用可能。
- ・心不全等高度に心機能が低下した例。(LVEF<50%)

**Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)****※ 減量基準**

Grade 4 以上の重篤な好中球減少、発熱性好中球減少症、血小板減少症および高度の皮膚反応が出現した時は Docetaxel 55mg/m<sup>2</sup> に減量。(一方毒性が耐用可能ならば 100mg/m<sup>2</sup> までの増量可)

**※ 延期の場合**

前回投与日から 6 週間未満の場合の投与は 420mg/body 投与。6 週間以上間隔が開く場合は 840mg/body で投与とする。

**Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)****Grade 3 以上**

好中球減少 48.9%, FN 13.8%, 白血球減少 12.3%, 下痢 7.9%, 末梢性ニューロパチー2.7%, 貧血 2.5%, 無力症 2.5%, 疲労 2.2%, 顆粒球減少 1.5%, 左室収縮機能障害 1.2%, 呼吸困難 1.0%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

N Engl J Med 2012;366:109

Lancet Oncol 2013;14:461